

通知において対象疾患・対象患者等がさだめられた検査・病理診断

区分	検査名	対象疾患・対象患者等	目的	備考
検体検査実施料	時間外緊急院内検査加算	入院中の患者以外の患者		
検体検査実施料	外来迅速検体検査加算	入院中の患者以外の患者		
D001 9	トランスフェリン（尿）	糖尿病又は糖尿病性早期腎症患者であって微量アルブミン尿を疑うもの（糖尿病性腎症第1期又は第2期のものに限る。）		
D001 10	アルブミン定量（尿）	糖尿病又は糖尿病性早期腎症患者であって微量アルブミン尿を疑うもの（糖尿病性腎症第1期又は第2期のものに限る。）		
D001 19	シュウ酸（尿）	再発性尿路結石の患者		キャピラリー電気泳動法により行った場合
D002	尿沈渣（鏡検法）	尿中一般物質定性半定量検査若しくは尿中特殊物質定性定量検査において何らかの所見が認められ、又は診察の結果からその実施が必要と認められて実施した場合		
D002-2	尿沈渣（フローサイトメトリー法）	尿中一般物質定性半定量検査若しくは尿中特殊物質定性定量検査において何らかの所見が認められ、又は診察の結果からその実施が必要と認められて赤血球、白血球、上皮細胞、円柱及び細菌を同時に測定した場合		
D006 29	トロンボモジュリン	① 膠原病 ② DIC若しくはそれに引き続いて起こるMOF	① 診断若しくは経過観察 ② 観察	
D006-15	膀胱がん関連遺伝子検査	膀胱がんの患者であって、上皮内癌(CIS)と診断され、過去に区分番号「K803」膀胱悪性腫瘍手術の「6」経尿道的手術を行った者。 同時に膀胱鏡により、膀胱がん再発の所見が認められないことを確認した患者に対して実施した場合に限る	再発の診断の補助	経尿道的手術後2年以内に限り、2回を限度として算定する。 本検査を実施した場合には、上皮内癌(CIS)と診断された病理所見、区分番号「K803」膀胱悪性腫瘍手術の「6」経尿道的手術の実施日及び本検査を過去に算定している場合にはその算定日を診療報酬明細書の摘要欄に記載する。
D006 30	フィブリンモノマー複合体	静脈血栓症又は肺動脈血栓塞栓症	診断及び治療経過の観察	
D007 23	総カルニチン及び遊離カルニチン	① 先天性代謝異常症 ② 静脈栄養管理若しくは経腸栄養管理を長期に受けている筋ジストロフィー、筋萎縮性側索硬化症若しくは小児の患者、人工乳若しくは特殊治療用ミルクを使用している小児患者、バルプロ酸ナトリウム製剤投与中の患者、Fanconi症候群の患者又は慢性維持透析の患者におけるカルニチン欠乏症	① 診断補助又は経過観察 ② 診断補助若しくは経過観察	関係学会の定める診療に関する指針を遵守し、酵素サイクリング法により測定した場合
D007 29	シスタチンC	尿素窒素又はクレアチニンにより腎機能低下が疑われた場合		
D007 31	ペントシジン	尿素窒素又はクレアチニンにより腎機能低下（糖尿病性腎症によるものを除く。）が疑われた場合		

D007 35	心臓由来脂肪酸結合蛋白 (H-FABP) 定性及び定量	急性心筋梗塞	診断	
D007 45	ヒアルロン酸	慢性肝炎の患者	慢性肝炎の経過観察 及び肝生検の適応の 確認	
D007 52	リポ蛋白リパーゼ (LPL)	高トリグリセライド血症及びLPL欠損症 が疑われる場合	鑑別	
D007 58	プロカルシトニン (PCT) 定量又は同半定量	敗血症 (細菌性) を疑う患者		
D007 60	プレセシン定量	敗血症 (細菌性) を疑う患者		
D007 62	1,25ジヒドロキシビタミン D ₃	慢性腎不全、特発性副甲状腺機能低下症、 偽性副甲状腺機能低下症、ビタミンD依 存症Ⅰ型若しくは低リン血症性ビタミン D抵抗性くる病	診断時又はそれらの 疾患に対する活性型 ビタミンD ₃ 剤による 治療中	
D008 19	脳性Na利尿ペプチド (BNP)	心不全	診断又は病態把握	
D008 21	脳性Na利尿ペプチド前駆体 フラグメント (NT-proBNP)	心不全	診断又は病態把握	
D008 18	ヒト絨毛性ゴナドトロピン βサブユニット (HCG-β)	HCG産生腫瘍患者		
D008 36	副甲状腺ホルモン関連蛋白 C端 フラグメント (C- PTHrP)	① 高カルシウム血症 ② 悪性腫瘍に伴う高カルシウム血症	① 鑑別 ② 治療効果の判定	
D008 38	副甲状腺ホルモン関連蛋白 (PTHrP)	① 高カルシウム血症 ② 悪性腫瘍に伴う高カルシウム血症	① 鑑別 ② 治療効果の判定	
D008 41	エリスロポエチン	① 赤血球増加症 ② 重度の慢性腎不全患者又はエリスロ ポエチン若しくはダルベポエチン投与 前の透析患者 ③ 骨髓異形成症候群に伴う貧血	① 鑑別診断 ② 腎性貧血の診断 ③ 治療方針の決定	
D008 49	ノルメタネフリン	褐色細胞腫	診断又は術後の効果 判定	
D009	腫瘍マーカー	診療及び腫瘍マーカー以外の検査の結果 から悪性腫瘍の患者であることが強く疑 われる者		
D009 1	尿中BTA	膀胱癌であると既に確定診断がされた患 者	膀胱癌再発の診断	悪性腫瘍特異物質治 療管理料の「イ」を 算定
D009 9	前立腺特異抗原 (PSA)	診察、腫瘍マーカー以外の検査、画像診 断等の結果から、前立腺癌の患者である ことを強く疑われる者		
D009 12	核マトリックスプロテイン 22 (NMP22) 定量 (尿)	尿沈渣 (鏡検法) により赤血球が認めら れ、尿路上皮癌の患者であることが強く 疑われる者		尿路上皮癌の診断が 確定した後に行った 場合であっても、悪 性腫瘍特異物質治療 管理料は算定できな い。
D009 21	サイトケラチン 8・18 (尿)	尿沈渣 (鏡検法) により赤血球が認めら れ、尿路上皮癌の患者であることが強く 疑われる者		尿路上皮癌の診断が 確定した後に行った 場合であっても、悪 性腫瘍特異物質治療 管理料は算定できな い。
D009 17	遊離型PSA比 (PSA F/T比)	診療及び他の検査 (前立腺特異抗原 (PSA) 等) の結果から前立腺癌の患者 であることが強く疑われる者		

D009 23	I 型コラーゲン-C-テロペプチド (ICTP)	乳癌、肺癌又は前立腺癌であると既に確定診断された患者	骨転移の診断	悪性腫瘍特異物質治療管理料の「ロ」を算定
D009 31	S2、3 PSA%	前立腺特異抗原 (PSA) の結果が4.0ng/mL以上10.0ng/mL以下であるもの。	前立腺癌の診断	LBA法 (定量) により測定した場合
D009 32	プロステートヘルスインデックス (phi)	(イ) 前立腺特異抗原 (PSA) 値が4.0ng/mL以上かつ10.0ng/mL以下 (ロ) 50歳以上65歳未満であって、前立腺特異抗原 (PSA) 値が3.0ng/mL以上かつ10.0ng/mL以下 (ハ) 65歳以上70歳未満であって、前立腺特異抗原 (PSA) 値3.5ng/mL以上かつ10.0ng/mL以下	診断の確定又は転帰の決定	CLEIA法により、前立腺特異抗原 (PSA)、遊離型PSA及び[-2]proPSAを測定し、プロステートヘルスインデックス (phi) を算出した場合
D009 36	可溶性インターロイキン-2レセプター (sIL-2R)	非ホジキンリンパ腫、ATL	診断	非ホジキンリンパ腫又はATLであることが既に確定診断された患者に対して、経過観察のために測定した場合は悪性腫瘍特異物質治療管理料の「ロ」により算定する。
D011 6	血小板関連IgG (PA-IgG)	特発性血小板減少性紫斑病	診断又は経過判定	
D011 9	血小板第4因子-ヘパリン複合体抗体 (IgG抗体)	ヘパリン起因性血小板減少症	診断	
D011 10	血小板第4因子-ヘパリン複合体抗体 (IgG、IgM及びIgA抗体)	ヘパリン起因性血小板減少症	診断	
D011 11	血小板第4因子-ヘパリン複合体抗体定性	ヘパリン起因性血小板減少症	診断	
D012 28	ノロウイルス抗原定性	当該ウイルス感染症が疑われる以下のいずれかに該当する患者 ア 3歳未満の患者 イ 65歳以上の患者 ウ 悪性腫瘍の診断が確定している患者 エ 臓器移植後の患者 オ 抗悪性腫瘍剤、免疫抑制剤、又は免疫抑制効果のある薬剤を投与中の患者		
D012 46	グロブリンクラス別クラミジア・トラコマチス抗体	クラミジア・トラコマチス抗原検出不能又は検体採取の困難な疾患 (骨盤内感染症、卵管炎、副睾丸炎、新生児・乳児肺炎等)	診断	
D012 44	(1→3)-β-D-グルカン	① 深在性真菌感染症が疑われる患者 ② 深在性真菌感染症	① 治療法の選択 ② 治療効果の判定	
D014 31	抗好中球細胞質ミエロペルオキシダーゼ抗体 (MPO-ANCA)	急速進行性糸球体腎炎	診断又は経過観察	
D014 32	抗糸球体基底膜抗体 (抗GBM抗体)	抗糸球体基底膜抗体腎炎及びグッドパスチャー症候群	診断又は治療方針の決定	
D015 29	結核菌特異的インターフェロニン-γ産生能	診察又は画像診断等により結核感染が強く疑われる患者		
D023 5	淋菌及びクラミジア・トラコマチス同時核酸検出	① クラミジア・トラコマチス感染症若しくは淋菌感染症が疑われる患者又はクラミジア・トラコマチスと淋菌による重複感染が疑われる患者であって、臨床所見、問診又はその他の検査によっては感染因子の鑑別が困難なもの クラミジア ② トラコマチスと淋菌の重複感染者	① 治療法選択 ② 治療効果判定	

D023 9	HCV核酸検出	C型肝炎	治療方法の選択及び 治療経過の観察	
D023 18	HIV－1 核酸定量	① HIV感染者 ② HIV－1 抗体、HIV－1,2抗体定性、 同半定量、HIV－1,2抗原・抗体同時 測定定性、同定量、HIV－1,2抗体定 量が陽性の場合	① 経過観察 ② 確認診断	
D216-2	残尿測定検査	前立腺肥大症、神経因性膀胱又は過活動 膀胱の患者		
D217	骨塩定量検査	骨粗鬆症	診断及びその経過観 察	
D223	経皮的動脈血酸素飽和度測 定	ア 呼吸不全若しくは循環不全又は術後 の患者であって、酸素吸入若しくは突 発性難聴に対する酸素療法を現に行っ ているもの又は酸素吸入若しくは突発 性難聴に対する酸素療法を行う必要が あるもの イ 静脈麻酔、硬膜外麻酔又は脊椎麻酔 を実施中の患者に行った場合		
D290-2	尿失禁定量テスト（パッド テスト）	尿失禁患者	定量的な尿失禁の評 価	
D317	膀胱尿道ファイバースコ ピー 「注」の狭帯域光強調加算	上皮内癌（CIS）と診断された患者	治療方針の決定	
D318	尿管カテーテル法（両側）	尿管の通過障害、結石、腫瘍等	検索	